

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然資源を使って、生きがいの中に伝統文化を継承する		
事業主体	一般財団法人飯田市南信濃振興公社		
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業		
	(6)産業復興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	908,388 円	うち支援金:	662,000 円

事業内容

- ・山藤から糸を紡ぎ織る、伝統文化を継承し地域の魅力として発信する。
- ・藤つる工芸や藤糸織りの体験と民泊をセットにした滞在型観光の実施、周辺散策による周遊型観光の案内をする中で、地域のファンづくりを進める。
- ・地域の蔓を採取し、籠編み体験の材料として利用する。山藤は、昔からの工法で一年間かけ糸に紡ぎ、体験メニューの提供や土産品を制作し販売する。
- ・和田小学校のクラブ活動を指導・支援して、山藤の採取から糸を紡ぎ織る文化を体験してもらう。楽しい作業交流により郷土愛を育み、未来へと伝承する。



【和田小学校での伝承活動】

【目標・ねらい】

- ①「特色ある地域づくり」
藤糸の文化再生・伝承
- ②「地域資源を活用した観光」
地生の蔓を活かし、体験民泊による滞在型観光の展開。
- ③「高齢者の生涯現役健康化」
手工芸を楽しみ、役割を担い、生きがいを持つ。
- ④小学生への伝承活動
地域の文化を知り郷土愛を育む。

事業効果

- ※毎 項目
- ① 山藤の採取、糸紡ぎ、工芸品製作など藤糸の文化伝承への取組が進んだ。
 - ② 体験と民泊が団体他5組、計26名、体験のみも、団体ほか30名を受け入れることができ、滞在型観光を展開できた。
 - ③ 活動を通じふじ糸伝承の会の運営が自立でき、高齢者の生きがいづくりの場となった。
 - ④ 子どもたち自身の希望から、来年度以降も小学校のクラブ活動が継続されることとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・支援金を活用して制作・整備したHP・リーフレット・ポスター・織り機を活用し、今後も多くの方に遠山に来て頂けるよう、遠山ふじ糸伝承の会が継続して活動していく。
- ・飯田市から当会の商品を利用したいという要請があり、新商品づくりに取り組む。
- ・和田小学校からの要請を受け、子どもたちが地域文化に触れ、地域の良さを再発見できるよう引き続きクラブ活動を指導・支援して

※ いく。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・会員が協力し、楽しみながら活動できる運営となった。
- ・体験30名、体験民泊26名の受入れなど、滞在型観光の構築に寄与できた。
- ・子どもたちからの希望で、和田小学校の活動が継続することとなり、伝承意識を植え付けられた。

以下から選択のこと。